

令和6年度
(2024年度)

事業報告書

公益財団法人 吹田市国際交流協会

令和6年度（2024年度）公益財団法人吹田市国際交流協会 事業報告書

I 市民主体の国際交流・国際協力

市民の自主的な国際交流・国際協力活動の支援に務めた。自分たちとは異なる言語、文化的・社会的背景をもつ人びととの対話を通して、市民が国際交流意識を高め、多様な人びとと互いの違いを認め、尊重し合う多文化共生社会の実現を目指した。

1. 国際交流推進事業(旧 友好交流都市との交流事業)

友好交流都市との交流は、コロナ禍以来滞っている環境下、市民主体の国際交流活性化という理念に立ち返り、ボランティアによる日本語交流活動やホームページやSNSを活用した情報発信、国際理解に係る出前講演、大阪関西万博を意識した語学教室、吹田市多文化共生ワンストップ相談センター（以下、相談センター）等を通じて、地域の多様な人々に対する国際交流推進に努めた。

2. 国際交流情報の収集及び発信

協会の活動紹介や報告、在住外国人に役立つ国際交流情報などを多言語で提供した。特に、教育に関する情報（子育て世帯向けイベント、入試情報など）を重視した。加えて、吹田市委託事業に関しては、吹田市ホームページでも情報を提供しており、多様な媒体からの発信力強化を意識した。相談センターのリンクを貼る吹田市の室課もあり、協会事業の市民等への周知につながっている。また、台風などの広域かつ大規模災害を想定し、気象や防災に関する多言語情報を発信した。

(1) 紙媒体による情報発信

- ・SIFA Times 発行回数：4回、延べ発行部数：6,800部
- ・吹田市報掲載 掲載件数：40件

(2) Web媒体による情報発信

- ・協会ホームページ 掲載件数：123件×8言語（やさしい日本語含む）
- ・ボランティア便り 配信数：7回（4月、10月、11月、12月、1月、2月、3月）

(3) 多言語情報閲覧コーナーの整備

- ・SIFA文庫 開架書籍：130冊

3. 市内大学との連携による留学生等と市民の交流

(1) 市内大学等のホストファミリープログラムの支援

留学生及びホストファミリーが互いの文化・習慣を知り、相互理解を深めることをねらい、家族ぐるみの国際交流活動を実施した。

ア 大阪大学留学生ホストファミリープログラム出合いの会への参加

日時：4月27日（土）10:30～11:30

場所：大阪大学 吹田キャンパス ICホール2階 講義室5・6

内容：ホストファミリーと留学生との顔合わせ

参加者：ボランティア 6家族

イ 大阪大学留学生ホストファミリープログラム連絡協議会への参加

日時：6月21日（金）10:00～11:30

1月23日（木）13:00～15:00

場所：大阪大学 国際教育交流センター

内容：留学生受入状況及び受入予定説明、各団体活動状況報告、OHP実施について

説明、意見交換

ウ ホストファミリープログラムミーティング

日時：5月23日（木）13:00～15:00 場所：SIFA（zoom）

参加者：ボランティア：3名 職員：2名

内容：6月16日（日）ホストファミリー交流会イベントについて

エ 留学生とボランティアとの交流

日時：6月16日（日）10:00～14:00 場所：千里南公園

参加者：ボランティア：11名 留学生：3名（国：インド、ロシア、中国）

職員：2名

内容：自己紹介、ゲーム、弁当を食べながら交流

日時：1月25日（土）10:00～14:00

場所：南千里地区公民館

参加者：ボランティア：19名 留学生：8名（国：インド、ロシア、中国）

職員：3名

内容：ポットラックパーティを通じた交流

Ⅱ 国際化推進の人づくり支援

多文化共生社会の推進のために、市民が他者理解の重要性を理解するための機会を増やし、未来を担う子供たちが多様な人たちとの出会いや交流・体験学習を通して、持続可能な社会形成のために活躍できる人材づくりを推進した。

1. 国際交流ボランティア活動支援

(1) 国際交流ボランティア登録

ア SIFA 日本語ボランティア研修「はじめての日本語ボランティア」

SIFA 日本語ボランティア教室への参加を希望するボランティア登録者を対象に、やさしい日本語やボランティアの心構えなどの講座を開催した。

「はじめてのボランティア活動」

日時：4月13日（土）15:00～16:00、8月24日（土）10:15～11:00

場所：SIFA 内教室

人数：23名、22名

「はじめての日本語ボランティア」

日時：4月13日（土）16:00～17:00、8月24日（土）13:00～14:30

場所：SIFA 内教室

人数：23名、17名

イ 新規ボランティア登録説明会

初めてボランティア活動をしようとする希望者を対象に、説明会を開催した。協会の理念やボランティア活動の内容について説明をおこない、国際交流ボランティア登録を実施した。

日時：8月24日（土）、2月15日（土）、2月17日（月）

場所：SIFA 内教室

人数：22名、30名、20名

(2) ボランティア講座

協会の活動に参加しているボランティア・協会職員を対象に外部講師を招き、ワークショップ形式の研修を開催した。また、ボランティア・協会職員の知見を活かしながら、実践的な対話を通じて協会活動の普及を図った。

日時：3月11日（火）18:30～20:00

講師：栗本 敦子
場所：SIFA 教室
人数：12 名

(3) ボランティアによる日本語学習支援

ア 日本語チューター

ボランティアと学習者が 1 対 1 又は 1 対 2 で日本語習得支援を行った。学習者の日本語レベルや要望はさまざまなので、それぞれに寄り添った支援を実施した。

期間：朝チューター 4 月 16 日～3 月 18 日（8 月活動なし） 毎週火曜日 90 分

夜チューター 4 月 17 日～3 月 19 日（8 月活動なし） 毎週水曜日 90 分

昼チューター 4 月 19 日～3 月 21 日（8 月活動なし） 毎週金曜日 90 分

回数：朝チューター 全 42 回（うち 1 回はボランティアガイダンス）

夜チューター 全 43 回（うち 1 回はボランティアガイダンス）

昼チューター 全 42 回（うち 1 回はボランティアガイダンス）

場所：SIFA 内教室、千里市民センター、ラコルタ（市民公益活動センター）

参加者：朝チューター 学習者 延べ 521 人、ボランティア 延べ 660 人

夜チューター 学習者 延べ 616 人、ボランティア 延べ 622 人

昼チューター 学習者 延べ 219 人、ボランティア 延べ 223 人

参加費：500 円/月

イ にこにこ日本語

ボランティアが外国人学習者と少人数のグループを構成し、当協会が作成した対話型教材（日本語交流活動教材『にこにこほんご』『はじめてのにこにこ』）を使用して、日常生活で出会う様々な場面を想定したフランクな“おしゃべり活動”を実施した。

期間：4 月 20 日～3 月 22 日 ※8 月活動なし

日時：毎週土曜日 10：00～11：30

回数：全 40 回（うち 1 回はボランティアガイダンス）

場所：SIFA 内教室、千里市民センター、南千里地区公民館

班構成：4 班。1 班は日本語入門レベルクラス、テキスト『はじめてのにこにこ』を使用。2～4 班はテキスト『にこにこ』を使用。

参加者：学習者 延べ 509 人、ボランティア 延べ 591 人

参加費：500 円/月

ウ みんなの漢字

ボランティアが外国人学習者と少人数のグループを構成し、当協会が作成したプリント教材（「生活の漢字～生活場面から文字を学ぶ～」）を使用して、日常生活のさまざまな場面で目にする漢字を想定して実施した。

期間：4 月 20 日～3 月 22 日 ※8 月活動なし

日時：毎週土曜日 12：30～14：00

回数：全 40 回（うち 1 回はボランティアガイダンス）

場所：SIFA 内教室・会議室

班構成：2 班（学習者を日本語初級者と中級者以上にレベル分けして運営）

参加者：学習者 延べ 273 人、ボランティア 延べ 286 人

参加費：500 円/月

エ 日本語わいわい

日本語交流活動を通して地域で暮らすみんながともに学ぶ場で、外国人ボランティアと日本人ボランティアが一緒に活動し、学習者と生活にまつわるテーマについて語り合い、学習者、ボランティア双方にとって気軽に来られる居場所となることを目指して実施した。

期間：4月19日～3月21日 ※8月活動なし

日時：毎週金曜日 10：00～11：30

回数：41回（うち1回はボランティアガイダンス）

場所：SIFA 内教室

参加者：学習者 延べ364名、ボランティア 延べ252名

参加費：500円/月

オ 地域日本語教育コーディネーターによる支援

地域日本語教育コーディネーターを配置し、日本語教育の現状把握や、学習支援方法等への助言、行政機関や地域との連携による地域日本語教室の実効性を高めた。また、ボランティア間の交流活性化を企図し、ボランティア交流会を実施した。

①「ボランティア交流会（夏）」～元 SIFA 日本語学習者の話を聞こう～

元 SIFA 日本語学習者の話を聞いて、ボランティア同士で交流やディスカッションをした。そして、交流を通して今後のボランティア活動の展開について一緒に考えた。

日時：8月24日（土）15:30～17:00 参加者：25名

②「ボランティア交流会（冬）」～元 SIFA 日本語学習者の話を聞こう～

元 SIFA 日本語学習者の話を聞いて、ボランティア同士で交流やディスカッションをした。そして、交流を通して今後のボランティア活動の展開について一緒に考えた。

日時：3月15日（土）14:30～16:00 参加者：16名

2. 語学教室

学習者の知識やコミュニケーション能力の習得だけでなく、様々な国の文化や生活習慣を知る機会を提供し、外国語に慣れ親しむことを手始めに国際理解の意識を高め、地域とともに生活する隣人としての外国人支援の重要性を伝えた。また、子供たちが英語学習を通して国際理解を深める機会となっており、グローバル人材の育成に努めた。

開講言語：英語、中国語、韓国朝鮮語、ベトナム語、スペイン語、アラビア語

参加登録人数：224人（通年クラスは2024年9月時点の受講者登録数）

(1) 通年クラス

【英語】

大人クラス

講師：Hosea Lee BakersⅢ、Nhon Nguyen、Douglas Rodger James、Marc-Eric Tremblay

親子（幼児）クラス

講師：Brian Rowlinson、

小学生クラス

講師：Brian Rowlinson、Douglas Rodger James、

【中国語】 講師：山口 小百合

【韓国朝鮮語】 講師：朴 家英

【ベトナム語】 講師：ファム フィ ハイ イェン

【スペイン語】 講師：Mariano Hernandez

講座名	クラス数	学習者数
大人（レベルクラス）	12	95人
大人（テーマクラス）	4	38人
旭通教室	2	15人
親子（幼児）英語	1	3人
小学生英語	4	20人
中国語	2	10人
韓国朝鮮語	4	37人
ベトナム語	2	11人
スペイン語	1	

(2) 短期クラス

5 月開講

クラス名	期間	講師名	回数	参加人数
英語でプレゼンテーション	5 月 16 日～7 月 18 日	Nhon Nguyen	10 回	3 人
話す韓国語（中級）	5 月 14 日～7 月 16 日	朴 家英	10 回	9 人
旅する中国語	5 月 17 日～7 月 19 日	山口 小百合	10 回	6 人
書いて学ぶアラビア語	5 月 17 日～7 月 19 日	高橋 翔平	10 回	4 人

2 日間ワークショップ

クラス名	期間	講師名	回数	参加人数
韓国伝統結びメドゥップ 2days	9 月 13 日、9 月 20 日	朴 家英	2 回	15 人

10 月開講

クラス名	期間	講師名	回数	参加人数
英語表現 文化編	10 月 7 日～12 月 23 日	Hosea Baker	10 回	5 名
ART in English	10 月 4 日～12 月 13 日	Nhon Nguyen	10 回	3 名
韓国朝鮮語 集中講座・中級	10 月 1 日～3 月 11 日	朴 家英	20 回	10 名
韓国朝鮮語 集中講座・初級	10 月 4 日～3 月 14 日	朴 家英	20 回	6 名
欲張りタイ語	10 月 3 日～12 月 12 日	笹川 コブ	10 回	5 名
英語でフラダンス	10 月 4 日～12 月 13 日	Shannon Ohara	10 回	12 名

11 月開講

クラス名	期間	講師名	回数	参加人数
初めてのフランス語・入門	11 月 7 日～12 月 19 日	Eric Delacour	10 回	10 人

1 月開講

クラス名	期間	講師名	回数	参加人数
オードリーと英語で旅する「ローマの休日」	1 月 6 日～3 月 17 日	Rodger James	9 回	6 名
英語でフラダンス	1 月 10 日～3 月 14 日	Shannon Ohara	10 回	12 名
和と美のアンバサダー入門・洗練の英語	1 月 6 日～3 月 17 日	Rodger James	9 回	8 名
韓国語で推し活	1 月 24 日～2 月 14 日	尹 文熙	4 回	10 名

(3) キッズサマークラス

クラス名	期間	講師名	回数	参加人数
小学 1・2 年生の初心者	7 月 31 日～8 月 2 日	Rodger James	3 回	9 人
小学 1・2 年生の経験者	7 月 31 日～8 月 2 日	Rodger James	3 回	3 人
小学 3・4 年生	7 月 31 日～8 月 2 日	Rodger James	3 回	3 人
小学 5・6 年生	7 月 31 日～8 月 2 日	Rodger James	3 回	10 人
中学生・高校生	8 月 19 日～8 月 21 日	Rodger James	3 回	4 人

3. 異文化理解・啓発事業

(1) 多文化まつり

今年度は「文化のサラダボウル～みんなで味わう多文化スパイス～」をテーマに、地域におけるつながり（仲間づくり）の輪を広げ、多様な生き方を認め合い、互いに支え合う社会を目指し多文化まつりを実施した。具体的には、世界のアニメや着物浴衣の着付け体験他、計 12 の企画を実施した。

期間：11 月 19 日（火）～11 月 24 日（日）

場所：SIFA 内教室、南千里地区公民館、吹田市北消防署、ラコルタ（市民公益活動センター）会議室

イベント参加者数：①世界の絵本：延べ 50 人

②民族衣装 de ファッションショー：延べ 60 人

③在住外国人による座談会：延べ 16 人

- ④浴衣体験・衣装展示：延べ 45 人
- ⑤世界の遊び：延べ 126 人
- ⑥ワークショップ：延べ 86 人
- ⑦私のふるさと紹介：延べ 177 人
- ⑧お茶体験：延べ 60 人
- ⑨相談センター・防災グッズ展示：延べ 107 人
- ⑩アイヌ文様・衣装の展示：延べ 1,027 人
- ⑪吹田市北消防署消防車見学：延べ 60 人
- ⑫生け花体験：延べ 119 人

総計参加者数：延べ 1,933 人

(2) 多文化共生講座「多文化ぷらす」

民族、国籍、文化、宗教、言語などの「違い」を超えて、さまざまな背景を持つ人々が互いに理解し合い、多様な文化や価値観を認め、尊重しながら共に暮らしていく社会の実現を目指し、その基盤となる知識や姿勢を学ぶ講座を実施した。多文化ぷらすでは、市民が多文化に対する理解を深め、共生社会について考える機会となることを目的としており、招聘講師講演、当事者体験談、参加者の意見交換、ワークショップ等を通じて、多様な切り口で多文化共生に接する機会を提供した。

①試練を乗り越えるために

日時：6 月 15 日（土）14:30～16:00

場所：SIFA 内教室

講師：ホゼア リー ベーカー III

参加者：15 人

内容：数世紀にわたって戦争の結果や経済的な取引の一環として、アフリカ大陸から奴隷たちがアメリカ、ヨーロッパで売買されていた歴史を、映像、写真を用いて説明。ホゼア先生の歌を交えた講演を開催した。

②語り合おう！！～なぜ、私はここにいるのか～

日時：10 月 12 日（土）14:30～16:30

場所：SIFA 内教室

講師：張 偉祺（チョウ イギ）、ツェレンダグワ ムンフバヤスガラン

参加者：13 人

内容：中国出身の張氏およびモンゴル出身のムンフバヤスガラン氏が、日本での生活を通して感じたことや、多文化共生に関わる仕事を志すに至った経緯などを語った。参加者同士で意見交換も行い、異なる背景を持つ人々が共に暮らすことの意味について考える場とした。

③子どもの学びに寄り添う～継承語とアイデンティティのはぐくみ

日時：11 月 23 日（土・祝）13:00～15:00

場所：SIFA 内教室 教室 1

講師：ウルジーバドラフ オトゴンスレン

参加者：16 人

内容：外国にルーツを持つ子どもの継承語、日本語学習、アイデンティティなどについて、当事者である保護者や、子どもの学習支援に関わるボランティアが、日頃感じている課題や疑問を共有し、共に考える座談会を実施した。

④各国の文字でデザイン「文字で世界を描く。世界が見えるマイバッグをつくろう！」

日時：12 月 7 日（土）10:15～12:00

場所：吹田歴史文化まちづくりセンター（浜屋敷）

講師：中原 あやこ エリアネ、ユン ムンヒ、グエン フォン アイン、レナ アドリアニ、

服部 貴子（吹田市多文化共生ワンストップ相談センター 多言語相談員）

参加者：17 人

内容：タイ文字、ネパール文字、アラビア文字、キリル文字、モンゴル縦文字など、さまざまな言語や文字を使って表現し、エコバッグをデザインするワークショップを実施した。各国の言葉や文字の起源、使い方について学ぶことで、多様な文字に対する理解を深めた。文字をデザインとして活用することで、他国の文化への関心を高め、親しみをもって多文化共生の視点を実践する機会となった。

⑤「Pátria Amada Brasil ～ブラジルを母国として生きる2つの家族のストーリー～」

日時：1月18日（土）14：30～16：30

場所：SIFA 内教室 教室1

講師：中原 あやこ エリアネ

参加者：18 人

内容：移民先であるブラジルにおいて、祖父母と両親がそれぞれの世代で経験し、思い描いた「母国」とは何かについて、ブラジルで生まれ育ったエリアネさんが、父親と共に、二つの家族のライフヒストリーを通して語った。かつては未知の土地だったブラジルが、次第に「愛する母国」へと変わっていった家族の歩みを伝えた。

⑥国際女性デートーク会「現代社会を生きるモンゴルの女性たち」

日時：3月8日（土）14：30～16：00

場所：SIFA 内教室 教室1

講師：鈴木 恵、ツェレンダグワ ムンフバヤスガラン

参加者：20 人

内容：国際女性デーに合わせて、元 JICA 青年海外協力隊員としてモンゴルで活動した協会職員と、モンゴル出身の職員が、「現代社会を生きるモンゴルの女性たち」をテーマにトーク会を実施した。元 JICA 海外協力隊員の協会職員は、モンゴルでの生活を通して感じた“逆カルチャーショック”や、日本とのジェンダー意識の違いについて語った。

参加者同士が日常の中で感じているジェンダーに関するモヤモヤを共有し、互いに語り合うワークショップを実施した。

4. 国際理解事業

小学校低学年向けの「がっこう編」、中・高学年向けの「たべもの編」「もの編」「かんきょう編」の4種類を出前授業「国際理解パッケージ」とし、市教育委員会の「ドキドキワールド」の授業の一環として市内小・中学校において開講した。パッケージは、コーディネーター（有償ボランティア）が選定したテーマ（食べもの等）を題材に、日本と世界とのつながりについて、講和やクイズを実施するものや、外国人講師による母国に関するプレゼンテーション及び児童生徒との質疑応答等で構成した。今年度は、コーディネーター4人、外国人講師延べ4人で実施した。

開催回数：6回 受講者数：285名

【実施日/回数/学校・教室/学年/人数/テーマ】

(1)6月17日（月）/1回/吹田市教育支援教室/小学2・4・6年生、中学2・3年生/10名

/たべもの編

(2)10月25日（金）/2回/吹田市立第二中学校/中学1年生/142名/かんきょう編

(3)11月11日（月）/1回/吹田市教育支援教室/小学2・4・6年生、中学2・3年生/10名

/もの編

(4)2月25日（火）/2回/吹田市立古江台小学校/小学3年生/123名/がっこう編

5. 国際交流団体等支援・連携事業

(1) 共催・後援・協力事業の実施

事業名：ワールドキャンパス吹田訪問事業

主催団体：吹田国際隣人グループ SING

開催期間：7月3日（水）～7月10日（水）

事業名：多民族共生人権研究集会

主催団体：多民族共生人権研究集会実行委員会

開催期間：7月23日（火）

事業名：アイヌ文様刺繍作品展

主催団体：先住民アイヌの声実現！実行委員会

開催期間：11月19日（火）～11月22日（金）

事業名：講演会「7カ国語で話そう」

主催団体：（一財）言語交流研究所ヒップファミリークラブ

開催期間：2月27日（木）、3月2日（日）、3月5日（水）、3月9日（日）、
3月16日（日）、3月23日（日）

(2) MUSE たかつきカレッジクラブ講座

株式会社関大パンセより委託されている子供と大人の両方を対象とした英語教室を開催。本年度は、2コース各6回ずつ全12回（Aコース補講除く）実施した。

コース：Aコース 講座名：大人の英会話（初級）

Bコース 講座名：小学生英語（小学1年生～3年生）Easy Peasy English

日時：6月4日（火）、6月11日（火）、6月18日（火）、6月25日（火）

7月2日（火）、7月9日（火）、7月16日（火）（Aコースのみ実施/補講日）

講師：Douglas Rodger James

受講者：Aコース 延べ123名 Bコース 延べ59名

(3) 関西大学南千里国際プラザとの連携

春と秋に開催された関西大学留学生別科の入学式、修了式へ出席し（オンライン含む）、地域団体の代表として挨拶をした。地域の中での受け入れ支援体制について、情報を提供した。

・入学式 4月2日（火）、9月26日（木）

・修了式 9月12日（木）

(4) 国際交流協会ネットワークおおさかを通じた他団体との連携

大阪府内の国際交流協会による「国際交流協会ネットワークおおさか実行委員会」（構成11団体）に参画し、ボランティア団体や国際交流関係団体、関係諸機関などとのつながりの場を作り、さまざまな情報交換を行い、広域的な相互連携、協力体制の維持強化した。

定例会：毎月1回

場所：大阪国際交流センター（オンライン併用）

構成団体：池田市市民活動部人権・文化国際課、和泉市総務部人権・男女参画室、
（公財）大阪国際交流センター、（公財）大阪府国際交流財団、
（公財）吹田市国際交流協会、（公財）とよなか国際交流協会、
（特活）とんだばやし国際交流協会、（公財）箕面市国際交流協会、
オブザーバー：大阪府都市魅力創造局国際課、堺市文化観光局文化国際部国際課、
（特活）多文化共生マネージャー全国協議会

(5) 吹田市国際交流団体ネットワークほかとの協力連携

第11回吹田市日本語教室ネットワーク連絡会

日時：7月12日（金）16:00～17:00

場所：SIFA 教室

参加団体：西山田あいうえお、たのしい日本語、千里国際友好会、ゆい日本語クラブ、識字
学級文字板クラブ、竹の子日本語交流会、ラコルタ（市民公益活動センター）、
SIFA 事務局

目的：SIFA とボランティアとが現状と課題を共有し、教室間・ボランティア間の交流を活
性化すること、市全体で学習者がボランティアと交流する数と質の均衡を図ること、
ボランティアが地域課題を一定解決できるようになることを企図しボランティア研修
を開催した。

第 12 回吹田市日本語教室ネットワーク連絡会

日時：1 月 31 日（金）16:00～17:00

場所：SIFA 教室

参加団体：西山田あいうえお、たのしい日本語、千里国際友好会、ゆい日本語クラブ、識字
学級文字板クラブ、竹の子日本語交流会、ラコルタ（市民公益活動センター）、
SIFA 事務局

目的：SIFA とボランティアとが現状と課題を共有し、教室間・ボランティア間の交流を活
性化すること、市全体で学習者がボランティアと交流する数と質の均衡を図ること、
ボランティアが地域課題を一定解決できるようになることを企図しボランティア研修
を開催した。

Ⅲ 在住外国人の支援

1. 日本語教室の開催

在住外国人の増加に伴い、日本語学習支援希望者も増加傾向。特に、日本語スキルがゼロに近
い学習者が増加している環境下、学習者の日本語スキル等に応じて以下の事業を実施した。

(1) 日本語 1・2（入門・初級クラス）

ア 日本語 1・2（入門・初級クラス）

短期間で生活に必要な一定レベルの日本語を学ぶことができるクラス。日本語教師有資
格者が講師としてテキストを用いて、日本語 1（入門レベル）と日本語 2（初級レベ
ル）のクラスを開講した。1 回 90 分のクラスを週 2 回実施、午前中のクラスには、ボ
ランティアによる保育を設けた。

期間：4 月 8 日～3 月 24 日

日時：月曜日・木曜日（10：00～11：30、13：00～14：30 のいずれかの時間）

回数：日本語 1 合計 83 回、日本語 2 合計 83 回

場所：SIFA 教室

講師：後藤 範子、榎原 智子（日本語教師有資格者）

参加者：日本語 1 延べ 732 人、日本語 2 延べ 825 人

イ サマーコース（ひらがな・かいわコース）

日本語 1・2 の学習者をフォローするとともに、日本語の習熟度が低く、日本語 1・2 の
前期クラスでの学習が難しい新規の学習者に対し、秋以降の後期クラスにおいて、スム
ーズに学習を始められるよう、夏季期間に集中したクラスを実施した。

期間：8 月 6 日～8 月 9 日 かいわ レベル 1 コース：10:00～11:30

かいわ レベル 2 コース：13:00～14:30

回数：かいわ レベル 1 コース、かいわ レベル 2 コースともに全 4 回

場所：SIFA 教室

講師：後藤 範子、榎原 智子（日本語教師有資格者）

参加者：かいわ レベル 1 コース 延べ 29 人

かいわ レベル 2 コース 延べ 39 人

(2) 日本語教室発表会

日本語教室の学習者が日本語でのスピーチを行うことで、学習成果を発表することに加え、地域住民との交流を図るための機会として交流会も実施予定。来場参加できなかった方へは、オンライン配信を実施した。

日時：12月8日（日）10:00～12:30

場所：ラコルタ会議室2・3、SIFA 教室

発表者：11名

観覧者：会場32名 オンライン30名

(3) 使える日本語

中級レベルの学習者を対象に、講師がテキストを使用して授業を開講

日時：4月9日～3月18日 回数：42回

場所：SIFA 内教室

講師：正多 宏美（日本語教師有資格者）

参加者：延べ486人

2. コミュニティ通訳ボランティア同行事業

吹田市における多文化共生社会の実現を目指すに当たり、外国人等がよりスムーズに行政サービスを受けることができるよう、コミュニケーション支援及び行政サービスの充実を目的として、行政機関で手続きや相談等を行う際に通訳者を同行させる等のコーディネートに関する業務を実施した。

(1) コミュニティ通訳ボランティア病院同行事業

同行先：提携病院（吹田市民病院、済生会吹田病院）

同行通訳：12名（英語 7名、中国語 5名）

依頼件数：52件（同行日が令和6年度の件数）

（月別内訳：4月2件、5月6件、6月4件、7月4件、8月7件、9月8件、
10月3件、11月5件、12月3件、1月0件、2月7件、3月3件）

依頼言語：英語 41件、中国語 17件

(2) コミュニティ通訳ボランティア行政窓口同行ならびにスキルアップ事業

ア コミュニティ通訳ボランティア行政窓口同行

同行先：市長部局（保育幼稚園室、すこやか親子室他）41件、
市長部局以外の機関等74件

依頼件数：136件（事前・当日キャンセル21件を含む）

（月別内訳：4月13件、5月16件、6月8件、7月12件、8月8件、9月7件、
10月4件、11月13件、12月16件、1月8件、2月12件、3月19件）

依頼言語：英語 50件、中国語 70件、ネパール語 8件、ベトナム語 2件、
インドネシア語 4件、韓国・朝鮮語 1件、アラビア語 1件

（依頼言語は、依頼日を基準とする）

イ 行政通訳ボランティア養成講座（会場：SIFA 内教室、会議室）

①「コミュニティ通訳養成講座」 7月20日（土）9:30～17:00 受講者 13名

講師：水野 真木子〔金城学院大学 文学部英語英米文化学科 教授〕

- ・基礎知識
- ・訳者の資質、役割、倫理
- ・ケーススタディ
- ・通訳基礎トレーニング
- ・筆記試験（合格者 12名）

※筆記試験合格者は、実技試験用動画教材を視聴（7月25日～8月2日）

②実技試験・面接（8月3日、8月7日、8月8日） 受験者 12名 合格者 10名

③新規登録ガイダンス（8月24日） 登録者 10名

3. 地域事業への在住外国人の参加促進

日本語教室に通う学習者や留学生の多くが登録している多言語メーリングリスト「ミミヨリ INFO」を活用し、新型コロナウイルス感染症やワクチン接種の情報をはじめ、市民公益活動団体や地域の商店街などが主催する地域行事等に、在住外国人が参加しやすくなるよう SNS 等を利用して情報提供をした。また、地域団体等から紹介された事業やイベント等について、協会が日本語の学習者や窓口において情報提供をした。

4. 外国にルーツをもつ子供の支援

(1) ハロハロ SQUARE（子供の放課後居場所作り及び学習支援）

ア 定例事業

1～3 学期毎に、「小学生部屋」と「中高生部屋」の 2 クラスに分け、各部屋においてボランティアと子供が 1 対 1、または 1 対 2 となるようマッチングし活動した。子どもの学習を企図したが、子どもの日本語スキル習熟水準や子どもの希望に配慮し、学校や家庭とは異なる子どもにとっての居場所となるよう趣味やゲーム、遊びの要素も取り入れた活動とした。2 学期後半から、日本語スキルがほぼゼロの子どもが増加傾向となっている。

対象：小学 1 年生から高校 3 年生の外国にルーツのある子供たち

期間：4 月 19 日（金）～3 月 21 日（金）

日時：毎週金曜日 18：00～20：00 回数：全 40 回

参加者：子供 延べ 477 名

ボランティア 延べ 460 名

イ 春休み・夏休みの自習室、お楽しみ会

休業期間中は、宿題や自主課題のフォローを行うため、SIFA 教室を自習室として開放した。また、各学期の最終日は「小学生部屋」と「中高生部屋」の子どもとボランティアが交流するお楽しみ会を実施した。

(ア) 夏休み自習室

実施日：8 月 19 日（月）、20 日（火）、22 日（木）、23 日（金） 時間：15:00～17:00

参加者：子供 延べ 17 人 ボランティア 延べ 15 人

(イ) お楽しみ会

実施日：7 月 19 日（金）、12 月 20 日（金）、3 月 21 日（金）

参加者：子供 延べ 39 人、ボランティア 延べ 38 人

(2) 帰国・渡日児童生徒支援事業

大阪府教育庁「帰国・渡日児童生徒学校生活サポート事業」三島地区実行委員会が主催する「多言語進路・学校生活サポートガイダンス」を通して、高校進学など進路選択のための情報提供と相談に協力した。

5. 子育て支援「こあらくらぶ」

外国人ママ・パパの日本での子育ての不安を和らげられるよう、悩みごとを話して共感し、情報共有ができるような交流の場を提供した。子育て中の外国人と同じ世代のボランティアが参加し、絵本の読み聞かせや手遊び、季節の行事などを盛り込んだ活動とした。日本で生まれ育った子供もいれば、海外から渡日した子供がいるなど利用者は多様性に富んでいる。

対象：外国人の親子、日本人の親子、妊娠中の人

実施日：5 月 22 日（水）、6 月 19 日（水）、7 月 10 日（水）、9 月 25 日（水）、

10月2日（水）、11月13日（水）、12月11日（水）、1月22日（水）、
2月19日（水）、3月5日（水） 回数：10回
参加者：延べ133人（大人：68人、子供65人） ボランティア：延べ23人

6. 防災減災事業

災害時における外国人の支援体制の構築を目的に、市と連携し、多言語情報発信、各種イベント等における啓発活動に加え、日本語学習支援事業の中でボランティアによる防災減災ツールの使い方指導などを行った。

(1) 情報発信

行政や関連機関等が発信している防災に関する情報を多言語で発信した。発信は、ホームページやSNSに加え、プッシュ型メール「ミミヨリ info」も活用した。

(2) 市との連携

「吹田市一斉合同防災訓練（1月19日）」を前に、近隣自治体における同訓練の準備状況ならびに外国人居住者の実状を把握するために市に随行し自治会説明会に参加した。
また、訓練日に合わせて、「地震発生時避難する際の留意点」や「台風や大雨の際の警戒レベルと避難行動」を定型メッセージとして多言語化（やさしい日本語、英語、中国語、韓国・朝鮮語、ポルトガル語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語）したうえで、発災時に遅滞なくメール発信、ホームページ掲載出来るよう協会事務局に登録するとともに、市とも共有した。

(3) その他

「多文化まつり」にて吹田市北消防署の施設、特殊車両見学

日時：11月23日（土・祝）、24日（日）

参加者：延べ60人

「FM千里『寺谷一紀の千里の道は世界へ通ず』」に出演し、吹田市は全世帯に「防災ブック」を配布していることや、「防災ブック」「洪水ハザードマップ」を多言語化していること、これら防災減災ツールや情報は、吹田市および吹田市国際交流協会ホームページに掲載していること、協会は在住外国人に対しツールの有用性や使い方を教えていることなどを伝えた。

「SIFA 防災月間」の実施

実施期間：2月1日（土）～2月28日（金）

場所：SIFA 内教室

対象：外国人市民および地域ボランティア

概要：各日本語教室において、日本における災害および防災に関する知識を学ぶ活動を行った。吹田市のハザードマップを用いて、地域の避難所や避難経路の確認を行ったほか、防災用語の学習や、防災情報の取得方法（アプリやホームページ等）についても、学習者とボランティアが意見交換をしながら理解を深めた。

7. 吹田市多文化共生ワンストップ相談センター

吹田市における外国人の受入環境整備を促進し、多文化共生社会の実現に資することを目的とし、外国人に対し、在留手続、雇用、医療、福祉、出産・子育て、子供の教育等の生活に係る適切な情報や相談場所に迅速にアクセスできるよう、情報提供及び相談を多言語で行うワンストップ型の相談窓口を運営。

(1) 対応日時：月曜日～金曜日 10:00～16:00

(2) 曜日別対応言語：

月曜日・木曜日・金曜日＝日本語、英語、ロシア語、中国語、韓国朝鮮語、ポルトガル語、モンゴル語

火曜日・水曜日＝日本語、英語、中国語、韓国朝鮮語、ロシア語、ベトナム語、
インドネシア語、ネパール語、ポルトガル語

(3) 相談方法：

- ア 窓口来訪
- イ 電話 (06-6835-1770)
- ウ Eメール (soudan@suita-sifa.org)
- エ その他 (Zoom)

(4) 人員体制：

- ア 主任相談員 1名
- イ 相談員 1名
- ウ 多言語相談員 8名 (うちコーディネーター 1名)
(英語、中国語、韓国朝鮮語、ロシア語、ベトナム語、インドネシア語、ネパール語、
ポルトガル語)

(5) 相談内容：

- ア 入管手続 82件 (雇用の手続き、ビザの申請、高度人材ポイント制等)
- イ 雇用・労働 36件 (職場内規則, 外国人の雇用、解雇、賃金の未払い、求職等)
- ウ 医療 29件 (病院の紹介、診察費用の補助、健康診断、予防接種等)
- エ 出産・子育て、教育 193件 (学習、受験、保育園入園・転入手続き、出産等)
- オ 日本語学習 123件 (日本語教室を探している、日本語を学びたい等)
- カ 身分関係 32件 (離婚、配偶者からのDV、国際結婚等)
- キ 通訳・翻訳 79件 (医療通訳、行政通訳を探している、書類翻訳等)
- ク その他 福祉 28件、住宅 64件、手続き一般 53件、マイナンバー2件、交通・運転免許
11件、社会保険・年金 35件、ウクライナ関連 0件、コロナウイルス関連 0件、
税金 26件、その他 56件 (吹田市の相談窓口一覧を知りたい、美術作品を通し
ての文化交流について等)

相談内容・相談者等の傾向

多様な国籍の相談者が生活に適応するための相談が増えている。主な相談内容は、日本語学習、日本の制度や給付の利用、在留資格、子どもの保育や教育、仕事関連 (解雇、雇用トラブル)。専門家相談の利用も引き続き行われている。また、国際結婚や家族関係、外国人との関わりに関する日本人からの相談も増加傾向。

(6) 専門家相談会：計 12 回実施

- ア 行政書士 4月9日 (火)、7月9日 (火)、10月8日 (火)、1月14日 (火) 計 4 回
- イ 社会保険労務士 5月28日 (火)、8月27日 (火)、11月26日 (火) 2月25日 (火) 計 4 回
- ウ 弁護士 6月12日 (水)、9月11日 (水)、12月10日 (火)、3月11日 (火) 計 4 回

(7) 情報発信

- ア 相談センターホームページ 掲載件数：47 件
- イ SIFA ホームページ 掲載件数：12 回
- ウ 吹田市ホームページ
吹田市委託事業について、市ホームページ上にて情報提供を開始しました。
専門家相談について、イベントページに掲載しました。
- エ 会報誌 SIFA Times 特集記事掲載：1 回 (2024 年 10 月号)
広告掲載：6 件 (外国人のための専門家相談)
- オ SIFA の Facebook ページ投稿
- カ 吹田市報 掲載件数：12 件 (外国人のための専門家相談)

(8) 人材育成 (研修・指導等)

ア 内部研修：6回実施

- ・スーパーバイズ研修 6月18日（火）、10月29日（火）、12月4日（水）、
3月26日（水）
講師：山中 京子〔コラボレーション実践研究所 所長〕
- ・メンタルヘルス研修 8月20日（火）
講師：密本 稚加子〔臨床心理士・公認心理師〕
- ・大阪出入国在留管理局在留支援部門 相談員向け研修 2月18日（火）
講師：森脇 勝二〔統括審査官〕

イ 外部研修：計8回参加

- ・RINK 通訳者・相談員スキルアップ講座 5回 6月22日（土）、7月6日（土）、
7月20日（土）、8月3日（土）、8月18日（日）
- ・大阪府女性相談センター 「女性相談センターの役割」 7月2日（火）
- ・国際交流協会ネットワークおおさか 「大阪弁護士会との研修会」 9月3日（火）
- ・大阪弁護士会「法律相談担当者との懇談会」11月20日（水）

8. その他の外国人支援

外国人のキャリアアップにつながる支援

外国人が自分のスキルを活かし活躍できる機会を提供するため、行政文書の翻訳を協会の関係する外国人に依頼した。また、外国人が活躍する社会環境整備のために、協会活動に関連する研修やセミナー等については、要望に応じて協会から講師を派遣した。

「外国人採用セミナー」

内容：吹田市内企業への人材確保支援

日時：11月19日（火）14:00～16:00

主催団体：吹田市商工会議所

共催：（公財）大阪産業局

IV SIFA 賛助会員

協会の事業への理解と支援を得るために、令和6年度活動報告書を作成しました。

	令和6年度	令和5年度
個人会員	490名（490口）	489名（489口）
法人会員	5法人（5口）	8法人（8口）
合計	（495口）	（497口）

V その他

【受賞】

協会推薦の一井謙三氏（千里国際友好会）「吹田市文化功労者」受賞

日時：11月3日（日）

場所：メイシアター（吹田市文化会館）

【参加・協力】

＊令和6年度吹田市多文化共生推進アドバイザー会議

日時：9月9日（月）10:00～12:00（オンライン）

＊すいたのこれからを考える交流会（吹田市社会福祉協議会）

日時：11月1日（金）14:00～16:00

場所：千里山コミュニティセンター

＊J8 ミーティング

日時：9月9日（月）19:00～21:00、1月28日（火）18:00～19:00

- 場所：吹田市文化会館（メイシアター）、吹田市役所災害対応オペレーションルーム
- ＊関西大学留学生別科入学式・修了式
日時：4月2日（火）13:00～14:00、9月12日（木）13:00～14:00、
9月26日（木）13:00～14:00、3月14日（金）13:00～14:00
場所：南千里国際プラザ
- ＊地域国際化連絡会議及び多文化共生地域会議（近畿ブロック）
日時：12月20日（金）13:30～16:00（オンライン）
- ＊NATS 多文化共生担当者会議
日時：7月1日（月）15:30～17:00
場所：吹田市国際交流協会
- ＊国際交流協会オンライン情報交換会
日時：10月15日（火）
主催：大阪府国際交流財団
- ＊国際交流協会ネットワークおおさか
（定例会議）
日時：5月16日（木）10:00～12:00、6月28日（金）10:00～12:00、
7月16日（火）10:00～12:00、10月1日（火）10:00～12:00、
12月17日（火）10:00～12:00、1月14日（火）13:00～15:00、
2月20日（木）10:00～12:00、3月26日（水）10:00～12:00
場所：大阪市国際交流センター、オンライン（Zoom）
- ＊ネットワークおおさか合同弁護士相談会
日時：1月25日（土）13:00～16:30
場所：庄内コラボセンター
- ＊子どもの夢応援ネットワーク定例会議
日時：6月18（火）18:30～21:00、10月1日（火）18:30～21:00、
11月1日（金）18:30～21:00、12月3日（火）18:30～21:00、
2月18日（火）18:30～21:00
場所：梅田ナレッジサロン、チカノバ（箕面市国際交流協会）
- ＊大阪弁護士会勉強会「多文化共生社会について」
日時：3月17日（月）18:00～20:00
場所：大阪弁護士会館
- 【調査研究協力】
- ＊妊娠期からの在日外国人母親の社会的ネットワーク形成に関する促進・阻害要因：質的記述研究」大阪大学大学院医学系研究科保健学選考 博士前期課程2年生
- ＊外国人差別をなくすためには～出身国にも焦点をあてて」関西大学高等部2年生
- ＊地域コミュニティの多文化共生における高齢者ボランティアの位置づけと役割」大阪大学大学院人間科学研究科 共生学系博士前期課程2年生
- ＊民間国際交流組織による地域交流事業と拠点づくりに関する研究」関西大学 環境都市工学部 建築学科住環境デザイン研究室4年生
- ＊吹田市在住の外国人が災害時に頼りにするもの、および吹田市の災害対応と事前準備」関西大学 外国語学部 4年生
- 【中学生職業体験学習受入】
- | | | |
|------------------|-------|----|
| 11月7日（木）～8日（金） | 豊津中 | 2名 |
| 11月12日（火）～13日（水） | 吹田第二中 | 1名 |
| 12月4日（水）～6日（金） | 吹田第一中 | 2名 |
- 【市職員研修】

多文化共生の推進には、外国人等と関わりを持つ行政職員の資質向上が必要不可欠であることから、市職員向けに研修を実施した。実際には「吹田市職員研修」と題し、自治体国際化協会の「地域国際化推進アドバイザー派遣制度」を活用し、開催した。

日時：10月29日（火）

講師：松本 義弘〔（一社）国際多文化研修ラボ 代表理事〕

参加者：市職員

内容：やさしい日本語研修

【職員研修】

ボランティア・コーディネーターについて、スタッフとボランティアの役割等に関する研修を実施した。また、ボランティア活動での困りごとなどを共有した。

*全国市町村国際文化研修所(JIAM) 多文化共生の地域づくりコース研修

日時：8月26日（月）～8月30日（金）

内容：日本全国の自治体に多文化共生・外国人支援においてそれぞれの課題を抱えており、特に外国人の在留資格の問題や病院や行政通訳の手配が課題となることを共有した。

*組織基盤強化研修

日時4月11日（木）13:30～15:30、6月20日（木）13:30～15:00

講師：松村 幸裕子〔（公財）京都市ユースサービス協会理事 共秦学舎主宰〕

【理事会・評議員会など】

ア 理事会・評議員会

・第1回通常理事会：5月9日（木）

議案第1号 令和5年度公益財団法人吹田市国際交流協会事業報告及び決算書について

議案第2号 公益財団法人吹田市国際交流協会理事の辞任及び監事候補者の推薦について

議案第3号 賃金退職金規程について

議案第4号 令和6年度公益財団法人吹田市国際交流協会定時評議員会の招集について

報告第1号 令和6年度予算書の一部修正について

報告第2号 理事長・副理事長職務執行状況報告

・第1回臨時理事会：12月17日（火）

議案第5号 「特別調査室」の報告・改善勧告を踏まえた協議ならびに改善策について

・第2回通常理事会：3月6日（木）

議案第6号 令和7年度収支予算書（案）について

議案第7号 令和7年度資金調達及び設備投資の見込みについて

議案第8号 第4期評議員選定委員会の設置と外部委員の選任案について

議案第9号 「職員就業規則（規則第9号）」の改訂について

議案第10号 令和6年度臨時評議員会の招集について

報告第3号 令和6年度吹田市財政援助団体等監査について

報告第4号 理事長及び副理事長職務執行状況報告について

・定時評議員会：5月28日（火）

議案第1号 令和5年度公益財団法人吹田市国際交流協会決算書の承認について

議案第2号 公益財団法人吹田市国際交流協会監事の選任について

報告第1号 令和5年度公益財団法人吹田市国際交流協会事業報告について

報告第2号 令和6年度予算書の一部修正について

・第1回臨時評議員会：3月21日（金）

議案第3号 令和7年度事業計画書（案）について

議案第4号 令和7年度収支予算書（案）について

議案第5号 令和7年度資金調達及び設備投資の見込みについて

報告第 3 号 第 4 期評議員選定委員会の設置と外部委員の選任について

報告第 4 号 「職員就業規則（規則第 9 号）」の改訂について

報告第 5 号 令和 6 年度吹田市財政援助団体等監査について

報告第 6 号 理事長職務執行状況報告について

イ 四半期報告会

第 1 回：8 月 3 日（土）、第 2 回：11 月 8 日（金）、第 3 回：2 月 28 日（金）

ウ 公認会計士による決算監査の実施

令和 6 年度決算監査：2025 年 4 月 10 日（木）

エ 監事監査の実施

令和 6 年度決算監査：2025 年 4 月 11 日（金）

オ 財政援助団体等監査

事前監査：9 月 6 日（金）

本監査：10 月 31 日（木）

令和 6 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので作成しない。

令和 7 年 4 月
公益財団法人 吹田市国際交流協会